# 岩室村はいま、交通事故発展途上地域

## 自分から事故を起こそうなんて思う人はいないけど…

11月8日に起きた横曽根地内の交通事故

**先月八日（日曜日）午前九時すぎ、横曽根地内の広域農道9号線でトラックと乗用車が衝突し、乗用車を運転していた三十六歳の男性が死亡、またトラックと乗用車に同乗していた三人が重軽傷を負うという悲惨な交通事故がありました。本当に悲しいことですが、この事故で村内での交通事故による死亡者が四人となり、過去最悪の状態になってしまいました。村や警察署そして地区交通安全協会などでもさまざまな手段を講じて、交通事故防止運動を展開していますが、まだまだ不十分な現実で残念です……。**

### 死亡者四人は過去最悪の記録

あなたは、自動車を運転してなん年になりますか。おそらく、免許を取得されたほとんどのかたが、事故を起こさないにしろ、なんらかのヒヤッとした瞬間を味わった経験があるのではないかと思います。

今年一月から十月末までに新潟県内で起きた交通事故は、九千二百八十二件。およそ四十七分に一回の割で起きています。

そのうえ、死亡者は百八十九人、負傷者となると一万一千二十八人、と岩室村の人口一万百四十四人を軽くオーバーする悲しい現状です。

とくに岩室村のある巻警察署管内（岩室村のほか、巻町、吉田町、西川町、弥彦村、中之口村、潟東村の七町村）は、県内三十三署の中でも死亡事故ワースト一位の〝交通死亡事故多発地域〟です。

そんな最悪の環境にある岩室村の状況といいますと、十一月八日現在で、事故発生件数が百二十三件（人身事故四十件、物件事故八十三件）、死亡者はなんと四人。昭和四十九年と並ぶ過去最悪の実態です。そのうえ負傷者も四十五人と本当に体が震えるような重大交通事故発展途上地域になってしまいました。

### 死者数だけがポイント・アップ

数字にすると、そのリアルさがはっきりしますが、今年の交通事故の特徴は実に尊い命が軽く奪われる死亡事故が多いことです。

表…❶でもお分かりのように、事故件数や負傷者の数は全体にポイントが下がっていますが、こと死者数となると三倍にもなっています。また、近隣町村と比べた居住地別による死亡事故発生状況（表…❷＝十一月十二日現在）を見ると岩室村を中心とした地区の突出が目立つうえ、村民の死亡者が三人という、まったく悲しい状況がわかります。

### 交通事故は現代の魑魅魍魎

交通事故なんて、だれだって自分から起こそうなんて思っている人は一人もいないはずですね。運悪く起きた事故も不幸な状況が重なった結果といえますが、それだけでしょうか。

実は事故原因を分析してみると、ちょっとした不注意がその要因となっています（十一月十日のチラシ参照）もちろん、道路構造や周りの環境なども事故原因の大きなポイントではあるかもしれませんが、ことし四人の死亡者を出した事故の場合、案外見通しのいい所で起きていることが気になります。

県警の事故処理担当官も「いくら道路構造を改善しても、また交通安全施設（ガードレールなど）を整備しても、それを有効に使い正しい交通マナーを守らないのでは、どうしようもありませんね。岩室村のみなさんの交通ルールに対する認識に疑問を感じます」と鋭い指摘をしています。

広報やチラシなどで、「ああだ、こうだ」と書き並べたところで〝馬の耳に念仏〟（交通ルールを守っていられるみなさんには釈迦に説法）かもしれませんが、交通事故を起こしていちばんたいへんなのは村や警察署ではなく、あなたやご家族自身です。当事者の負傷ばかりでなく、今後の人生そのものを変えてしまう場合もあります。このように交通事故は、いわば現代の魑魅魍魎（山や川の怪物＝恐しいばけもの）のような気がします。この怪物の撃退策は、みなさんの正しい交通マナーが唯一の手段だと思います。

こんな説教がましい暗いニュースはいやですね。こんどは「死亡者ゼロ！」「全県一だ！」なんて明るいニュースをお知らせしたいですね。

（表…❷）
**居住地別の死亡者発生状況**

| 発生地＼居住地 | 岩室村 | 弥彦村 | 吉田町 | 巻町 | 潟東村 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 岩室村 | 3 | | | | | 3 |
| 弥彦村 | | 2 | | | | 2 |
| 吉田町 | | 1 | 3 | | | 4 |
| 巻町 | | | | 2 | | 2 |
| 西川町 | | | | | 1 | 1 |
| 潟東村 | | | | | | |
| 中之口村 | | | | | | |
| 寺泊町 | | 2 | | | | 2 |
| 新潟市 | | | | 1 | | 1 |
| 計 | 3 | 5 | 3 | 3 | 1 | 15 |

（11月12日現在）

（表…❶）
**岩室村の交通事故状況**

| | 62年 | 61年 | 増減数 | 増減率 |
|---|---|---|---|---|
| 人身事故 | 40 | 60 | −20 | −33% |
| 死者数 | 4 | 1 | ＋3 | ＋30% |
| 傷者数 | 45 | 80 | −35 | −44% |
| 物件事故 | 83 | 97 | −14 | −14% |

（11月8日現在）

## 私のひとこと

### けっきょくは自分のため

越路タクシー勤務
（和納2区・46歳）
月岡 一也さん

交通安全の規則は、人のためではなく、けっきょくは運転者自身のためにあると思います。交通事故が起きると、被害者も加害者も、金銭的な面や精神的な面で、相当な苦労を強いられます。わたしたちの仕事はお客様を安全に運ぶことが使命ですから、それ相当の気配りをしています。また、ハンドルを握ったら適度な緊張感とゆとり――それに〝ゆずりあい〟といったやさしさを心がけています。

### 地域全体で指導する姿勢が大切

和納小学校ＰＴＡ
（和納12区・39歳）
笠原 幸枝さん

街頭指導に立つと、今の道路はあちこちに危険が待ちかまえているのがよくわかります。以前も道路を渡ろうとした子供たちの意思表示不足で、危うく車に接触しそうなことがありました。運よく大事にならずホッとしましたが、道路を渡るときははっきり意思表示をしてほしいですね。また子供たちの危険な行動は親だけでなく、地域全体で指導することが交通安全に限らず、地域づくりにも役立つのではないでしょうか。

### 心のなかで声かけて

和納小学校ＰＴＡ
（和納8区・34歳）
石田 尚美さん

毎日の新聞で交通事故の記事が載っていない日はありませんね。交通事故はいつ、わたしたちの身にふりかかってくるかわかりませんので、つねに油断しないよう気をつけています。そのため、自動車を運動するときも、道路を渡るときも、口から声こそ出しませんが、心の中で「右よし、左よし」と確認するようにしています。それに家庭では朝のひと声が大切ですね。しなかった日は、やっぱり気になります。